

事業所名

社会福祉法人ゆうゆう kaede

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

26 日

法人（事業所）理念		「ひとりの想い」を文化にする。		
支援方針		ワクワクが集う商店街と一緒に、人と人との交流の風景を創ります。 Kaedeは、将来の生活を見据えてお仕事・お買い物等様々な社会体験の機会を提供しています。 江別市内の大学に通う学生アルバイトや地元の主婦など、様々な視点をもつ支援チームで協力しながら、子ども一人ひとりのことを考えた生活をみんなで創りあげていきます。		
営業時間		平日 ①10:00～12:00 / 13:00～17:30 ②13:00～17:00 ③10:00～17:00 学校休業日・長期休暇 ①10:00～15:00 ②10:00～12:00 / 13:00～16:00 (5時間以上開所することとする)	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ●健康状態の維持・改善 ●約束やスケジュールを用いながら、生活習慣や生活リズムの形成 ●身の回りのことを自ら行えるよう家事的な作業を通じた、基本的な生活スキルの獲得 ●生活におけるマネジメントスキルの育成 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ●“うごく”“たべる”“経験する”を通して、姿勢と運動・動作の基本的技術の向上 ●姿勢保持と運動・動作の補助的な手段の活用 ●外出支援や運動を意識したイベント開催を行いながら、身体の移動能力の向上を図る ●一人一人が保有する感覚を十分に活用し、環境に適応できるよう、遊びなどを通じて支援を行う ●感覚の特性への環境調整 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ●認知の特性についての理解と対応 ●対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 ●行動障害への予防及び対応 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニケーションの基礎的能力の向上 ●言語の受容と表出 ●コミュニケーション手段の選択と活用 ●状況に応じたコミュニケーション（絵カードやジェスチャー、ゆびさしなど）を自ら選択し、意志表出できるように支援を行う 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ●情緒の安定 ●同年代や学校などの集団活動の中で、他者との関わり（人間関係）の形成できるように支援を行う ●遊びを通じた社会性の発達 ●自己の理解と行動の調整（SSTやアンガーマネジメントなど） ●集団や同年代の友達との関わりの中から、社会のルールを理解し、集団活動や社会生活に参加できるように支援を行う 		
家族支援	こどもの障害の特性等を理解していくために本人、保護者と一緒に考えていきます。 個別面談等で家族からの意向を丁寧にヒヤリングし、こどもの将来に向けた適切な支援を行います。	移行支援	放課後等の時間の中で、多様な体験や学習等を通じて、一人ひとりが自分らしく生活できるよう支援を行っていきます。 商店街という地域性をいかして、ここでしかできない経験や体験を積める機会を創っていきます。	
地域支援・地域連携	通所するこどもに関わる地域住民、商店街の関係者、関係機関と必要な連携を図っていきます。	職員の質の向上	虐待防止研修、職員の階層別研修、福祉と当事者のリアル研修等への参加	
主な行事等	野布瀬農園での田植え体験、商店街イベント事業への参加、わたなべストアのパブリックスペースを活用して、地域住民の方が行きかうイベント開催（販売体験など）、稲刈り、北海道障がい者のアート展への出展、作品作り			